

久留米総合スポーツセンター個別施設計画について

【施設の概要】

対象施設	久留米総合スポーツセンター		
所管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整理番号	60	竣工年度	昭和48年度
所在地	福岡県久留米市東櫛原町170-1		
敷地面積(㎡)	260,645.52	建築面積(㎡)	21,305.82
主構造	RC	延床面積(㎡)	29,201.23
主要建築物	陸上競技場、補助競技場、テニスコート、久留米アリーナ、野球場		

福岡県立久留米総合スポーツセンターは昭和49年のインターハイを契機に設置されました。センター内には、久留米アリーナ、陸上競技場、補助競技場、テニスコート、野球場があり県南地域のスポーツ振興の拠点として利用されています。

なお、久留米アリーナ内の武道場・弓道場等、野球場は久留米市が設置しています。

【個別施設計画の策定単位】

久留米総合スポーツセンターの個別施設計画については、当該施設を構成する建築物を①陸上競技場・補助競技場、②テニスコート、③久留米アリーナの3つに分け、それぞれについて今後の改修等に関する計画を策定しました。

福岡県立久留米スポーツセンター
陸上競技場・補助競技場
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	60
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県立久留米スポーツセンター陸上競技場・補助競技場
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	久留米総合スポーツセンター		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	60	竣工年度	昭和 48 年度
所 在 地	福岡県久留米市東櫛原町 1 7 0 - 1		
敷 地 面 積 (m ²)	260,645.52	建築面積 (m ²)	21,305.82
主 構 造	R C	延床面積 (m ²)	29,201.23
主 要 建 築 物	陸上競技場、補助競技場、テニスコート、久留米アリーナ、野球場		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	陸上競技場・補助競技場				
棟 番 ・ 枝 番	1010	—	1・2	竣工年度	昭和 48 年度
建 築 面 積 (m ²)	2,298		延床面積 (m ²)	6,898	
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 3 階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
3F	2,298.00	放送室等			
2F	2,298.00	倉庫及びトイレ等			
1F	2,298.00	管理事務所及びロッカー室等			

福岡県立久留米スポーツセンター陸上競技場・補助競技場は、昭和 48 年度に竣工しました。

久留米の文化ゾーン「中央公園」内にある総合スポーツセンターは、高速道路の久留米インターチェンジから近い利便性の高い場所に位置しています。

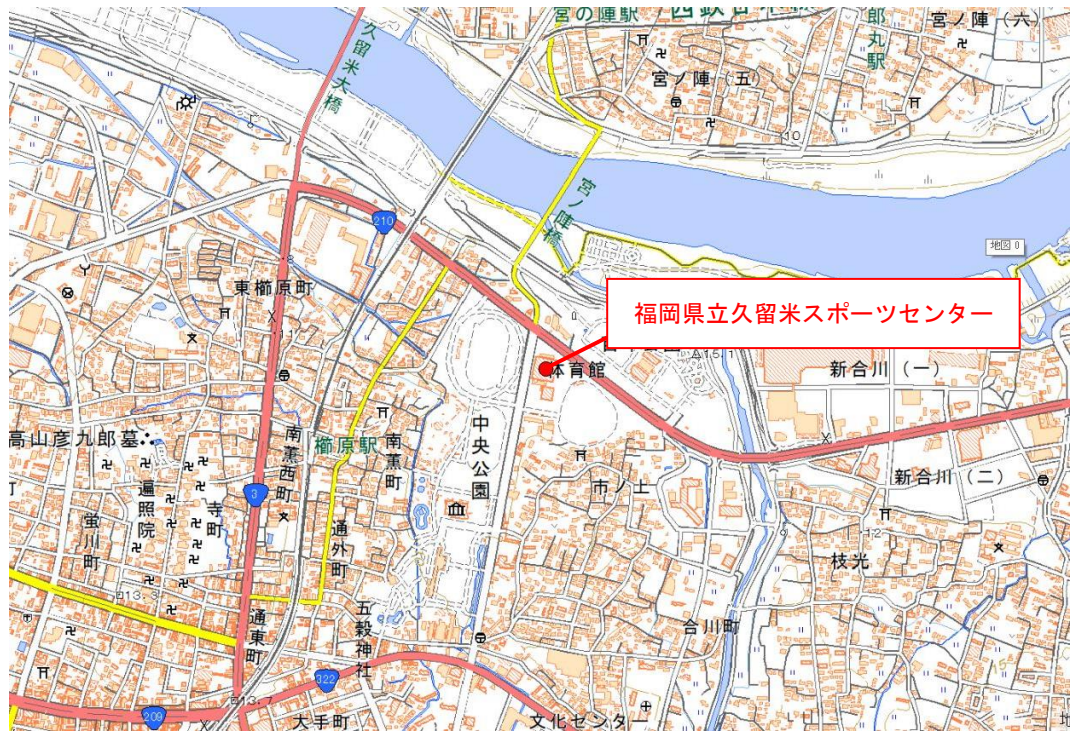
なお、野球場、久留米アリーナ内の武道場、弓道場等については久留米市が所有しています。

(3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

陸上競技場は、築46年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

陸上競技場は鉄筋コンクリート造りによる競技場施設です。

耐震補強工事を平成23年度、受電設備の更新を平成18年度に行っています。

陸上競技場については公益財団法人日本陸上競技連盟から第2種公認陸上競技場の認定を受けており、5年に1度公益財団法人日本陸上競技連盟の示す「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」の基準を満たすための改修工事が必要となります。

また、段差が多く、和便器が中心のトイレなどバリアフリー化が遅れているため、バリアフリー化対策を優先して行います。

その他予防保全型管理のうえでの標準的な改修時期に合わせた計画的な改修を行っていきます。

(3) その他

敷地内には、陸上競技場・補助競技場のほか、テニスコート、久留米アリーナ、野球場等があります。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

施設設備の不具合等が発見された場合には事後保全による修繕を行っています
が、予防保全による改修はできていない状況です。

(2) 建物全体の現存率

現存率算定表

施設名称	福岡県立久留米スポーツセンター		建物名称	陸上競技場・補助競技場				
所在地	久留米市東櫛原町170-1		棟番・枝番	1010	-	1・2	築年数	46年
建築年度	昭和48年度	建築面積	2,298.00 m ²	現存率	66.0	想定耐用年数	65年	
構造・階数	RC 3	延面積	2,298.00 m ²					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率	①×②		
構造	躯体	40	RC H23_耐震改修工事	46	80.0	32.00		
	小計						32.00	
主要部 仕上げ	屋根・防水	-	無し	46	0.0	-		
	外壁	40	塗装	46	50.0	20.00		
	小計						20.00	
電気設備	受変電設備	10	H18_受変電改修	46	80.0	8.00		
	小計						8.00	
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		46	60.0	6.00		
	小計						6.00	
合計						66.00		

この結果、福岡県立久留米スポーツセンターの陸上競技場・補助競技場の現存率は、「66.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C	80.0	耐震診断による Is 値 ¹	Is が 0.7～1.0 未満
屋根	無し	—	防水層からの漏水 またはその痕跡	—
			防水層の劣化	—
			経年（新設もしくは改修後）	—
外壁	塗装	50.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に多くの劣化がある ・ 少数の部材にも多くの劣化部分がある ・ 大規模修繕が必要
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に少しずつの劣化がある ・ 多数の部材に各々少しずつ劣化部分がある ・ 部分修繕でも対応可能
内壁	石こうボード EP	40.0	劣化	仕上げ材等の劣化が広範囲にあり、部分修繕が必要
天井	石こうボード EP 化粧石こうボード	60.0		
床	モルタル塗り	60.0		
建具	木製	80.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
受変電設備	あり	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
自家発電設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

¹ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
動力設備	—	—	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
その他設備	インターホン TV 共同受信 防犯設備等 表示設備	20.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	70.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 15 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
消火設備	消火設備	60.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 30 年以上
エレベーター 設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

○特殊設備の状態

調査部位	種類・形式等	現在の状況
放送設備	ミキサー アンプ 全天候型スピーカー等	<ul style="list-style-type: none"> ・ミキサー、アンプ等については施設の建設当初から 40 年以上更新されておらず多くの劣化がある。 ・スピーカーについても劣化が激しく、音が出ないものが複数ある。
陸場競技場走路	ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・検定の要件を満たすために、改修が必要。
陸上競技測定システム		<ul style="list-style-type: none"> ・年に 1 度の点検では異常は出ていないが、経年劣化しているものが多い。

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
1973	46	新	0.76	○	○	○	65年

※平成 22 年度耐震診断結果より

経年による部分的な劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無いため、福岡県立久留米スポーツセンター陸上競技場・補助競技場の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 19 年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築46年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は19年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

公益財団法人日本陸上競技連盟の公認大会が開催できるように、「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」の基準を満たすための改修工事を実施します。

併せて、建物内に段差が多く、多目的トイレが無いなどバリアフリー化が遅れているため、バリアフリー工事を実施します。

その他、大会運営や利用者の利便性を考慮しながら、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)		
区分	項目	実施時期		
		令和元～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	342	50	72
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	0	15
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	17	0
その他	走路ウレタン等	360	289	122
計		702	356	209

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。

福岡県立久留米スポーツセンター
テニスコート
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	60
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県立久留米スポーツセンターテニスコート
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(1) 対象施設の概要	
	(2) 対象施設の活用状況	
	(3) 計画期間	
	(4) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(1) 施設間の優先順位	
	(2) 施設内での優先順位	
	(3) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(1) 個別施設の状態	
	(2) 施設の現存率	
	(3) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(1) 改修・更新について	
	(2) 対策の平準化について	
	(3) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	久留米総合スポーツセンター		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	60	竣工年度	昭和 48 年度
所 在 地	福岡県久留米市東櫛原町 1 7 0 - 1		
敷 地 面 積 (m ²)	260,645.52	建築面積(m ²)	21,305.82
主 構 造	R C	延床面積(m ²)	29,201.23
主 要 建 築 物	陸上競技場、補助競技場、テニスコート、久留米アリーナ、野球場		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	テニスコート				
棟 番 ・ 枝 番	1010	—	3	竣工年度	平成 17 年度
建 築 面 積 (m ²)	145.50		延床面積(m ²)	145.50	
構 造 ・ 階 数	R C 造 地上 2 階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積(m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
2F	60.12	競技運営室			
1F	82.03	事務室等			

福岡県立久留米スポーツセンターテニスコートはクレイコートとして、昭和 52 年度に竣工し、平成 17 年度に現在の人工芝コートに全面改修し、併せて、管理棟も現在の施設に建替えました。

久留米の文化ゾーン「中央公園」内にある総合スポーツセンターは、高速道路の久留米インターチェンジから近い利便性の高い場所に位置しています。

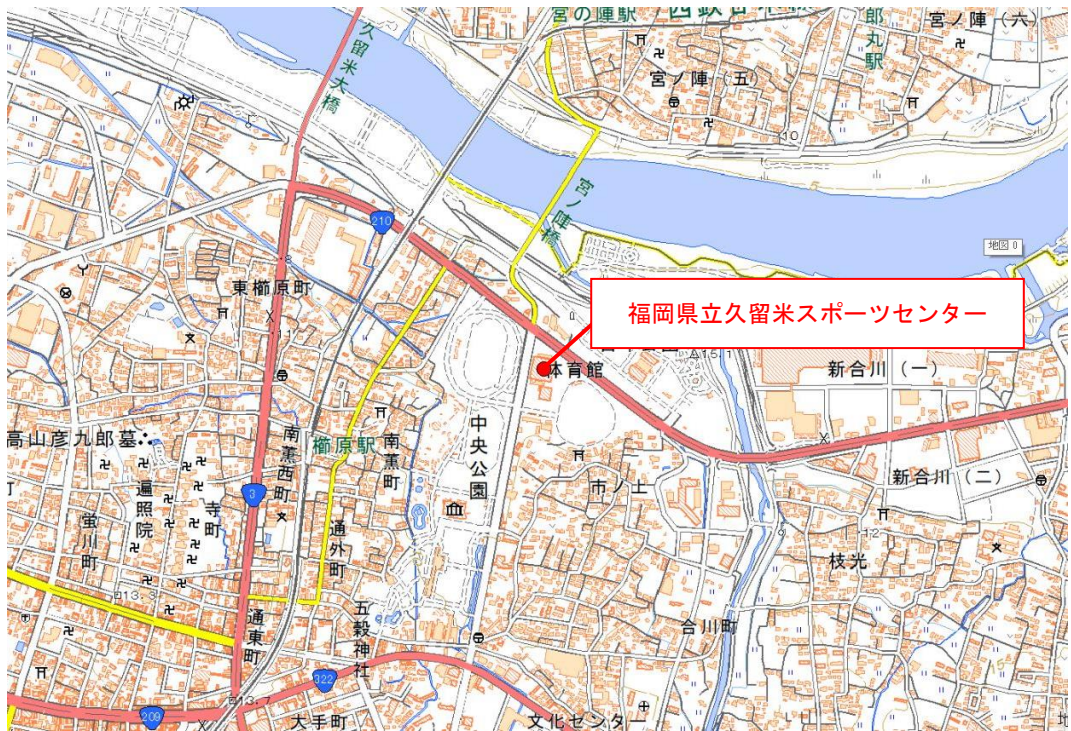
なお、野球場、久留米アリーナ内の武道場、弓道場等については久留米市が所有しています。

(3) 計画期間

計画期間は令和 8 年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築14年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。他の県有施設と比較して改修等を優先すべき個別事情は特にありませんが、施設を管理していく上で必要な対策を順次適切に行っていきます。

(2) 施設内での優先順位

施設としてはRC造りによる一般的な建物であります。

コートについては、人工芝の耐用年数を大幅に超え、劣化が激しく、複数箇所穴が開き、利用に支障をきたしている状況です。そのため、優先的にコートの改修を実施していきます。

その他予防保全型管理のうえでの標準的な改修時期に合わせた計画的な改修を行っていきます。

(3) その他

敷地内には、テニスコートのほか、陸上競技場、補助競技場、久留米アリーナ、野球場等があります。

第3章 個別施設の状態. 等

(1) 個別施設の状態

施設設備の不具合等が発見された場合には事後保全による修繕を行っていますが、予防保全による改修はできていない状況です。

(2) 建物全体の現存率

現存率算定表

施設名称	福岡県立久留米スポーツセンター		建物名称	テニスコート				
所在地	久留米市東楯原町170-1		棟番・枝番	1010	-	3	築年数	14年
建築年度	平成17年度	建築面積	0.00 m ²		現存率	80.0	想定耐用年数	65年
構造・階数	RC 2	延面積	145.50 m ²					
区分	項目及び①評価比率(%)		仕様	経過年数	②各部位の現存率		①×②	
構造	躯体	40	RC	14	80.0		32.00	
	小計							32.00
主要部仕上げ	屋根・防水	20	不明	14	80.0		16.00	
	外壁	20	塗装	14	80.0		16.00	
	小計							32.00
電気設備	受変電設備	10		14	80.0		8.00	
	小計							8.00
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		14	80.0		8.00	
	小計							8.00
合計							80.00	

この結果、福岡県立久留米スポーツセンターのテニスコートの現存率は、「80.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	鉄骨コンクリート造	80.0	耐震診断による Is 値 ²	Is が 0.7～1.0 未満
屋根	不明	80.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	<ul style="list-style-type: none"> 部分的にひび割れや部材の劣化がある 少数の部材に少しの劣化がある
			防水層の劣化	<ul style="list-style-type: none"> 部分的にひび割れや部材の劣化がある 少数の部材に少しの劣化がある
			経年（新設もしくは改修後）	経年 10 年以上
外壁	塗装	80.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	<ul style="list-style-type: none"> 部分的にひび割れや部材の劣化がある 少数の部材に少しの劣化がある
			漏水の発生・痕跡の有無	<ul style="list-style-type: none"> 部分的にひび割れや部材の劣化がある 少数の部材に少しの劣化がある
内壁	石こうボード EP	60.0	劣化	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
天井	化粧石こうボード	100.0		
床	ビニールシート張り	80.0		
建具	不明	80.0	劣化	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
			開閉作動・取付け状態	仕上げ材等に劣化が部分的に発生しているが機能上問題なし
電灯・電話設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
受変電設備	あり	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
自家発電設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

² Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
動力設備	動力設備	—	経年（新設後更新後）	—
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
その他設備	インターホン TV共同受信 防犯設備等 表示設備	60.0	経年（新設後更新後）	経年 20 年以上
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	80.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
消火設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—
エレベーター 設備	—	—	定期点検等の結果	—
			経年（新設後更新後）	—

○特殊設備の状態

調査部位	種類・形式等	現在の状況
テニスコート	砂入り人工芝	劣化が激しく、危険な状態 14年経過（耐用年数10年）
放送設備	非常用放送兼用	多くの劣化がある。

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2005	14	新	-	-	-	-	65 年

経年による部分的な劣化は見られるものの、建物に大きな問題が無い
ため、福岡県立久留米スポーツセンター（テニスコート管理棟）の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 51 年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築14年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は51年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

(2) 対策の平準化について

まず、テニスコートについては劣化が激しく、人工芝に空いた穴につまづくなど利用に支障をきたしているコートの全面改修を行っていきます。

その他、大会運営や利用者の利便性を考慮しながら、費用や事務負担軽減等を図る観点から平準化を行い、順次改修を行うこととします。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)		
区分	項目	実施時期		
		令和元～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	2	4
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	1	2
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	1	3
その他	放送設備等	199	2	0
計		199	6	9

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。

福岡県立久留米スポーツセンター
久留米アリーナ
個別施設計画

施設類型	県民向け施設
整理番号	60
施設所管課	教育庁教育振興部 体育スポーツ健康課

令和2年2月

❀福岡県❀

福岡県立久留米スポーツセンター久留米アリーナ
個別施設計画

目次

第1章	概要	1
	(5) 対象施設の概要	
	(6) 対象施設の活用状況	
	(7) 計画期間	
	(8) 位置図等	
第2章	優先順位の考え方	3
	(4) 施設間の優先順位	
	(5) 施設内での優先順位	
	(6) その他	
第3章	個別施設の状態等	4
	(4) 個別施設の状態	
	(5) 施設の現存率	
	(6) 目標耐用年数	
第4章	対策の内容等	8
	(4) 改修・更新について	
	(5) 対策の平準化について	
	(6) 対策の内容等	

第1章 概要

(1) 対象施設の概要

対 象 施 設	久留米総合スポーツセンター		
所 管	教育庁教育振興部体育スポーツ健康課		
整 理 番 号	60	竣工年度	昭和 48 年度
所 在 地	福岡県久留米市東櫛原町 1 7 0 - 1		
敷 地 面 積 (m ²)	260,645.52	建築面積 (m ²)	21,305.82
主 構 造	RC+S	延床面積 (m ²)	29,201.23
主 要 建 築 物	陸上競技場、補助競技場、テニスコート、久留米アリーナ、野球場		

(2) 対象施設の活用状況

建 物 の 名 称	久留米アリーナ				
棟 番 ・ 枝 番	1010	-	4	竣工年度	平成 29 年度
建 築 面 積 (m ²)	14,798.32		延床面積 (m ²)	18,815.73	
構 造 ・ 階 数	RC+S造 地上2階				
各 階 面 積 及 び 用 途					
階別	階床面積 (m ²)	主 な 用 途 (室 名 他)			
2F	5,466.99	大研修室及びトレーニングルーム等			
1F	13,211.07	メインアリーナ及びサブアリーナ等			

久留米アリーナの場所には、これまで県立体育館、久留米市武道館、久留米市弓道場がありましたが、築年数が40年以上経過し、施設の老朽化が進んでいたことから、久留米市と共同で改築工事を行い、平成29年度に久留米アリーナを建設しました。

久留米の文化ゾーン「中央公園」内にある総合スポーツセンターは、高速道路の久留米インターチェンジから近い利便性の高い場所に位置しています。

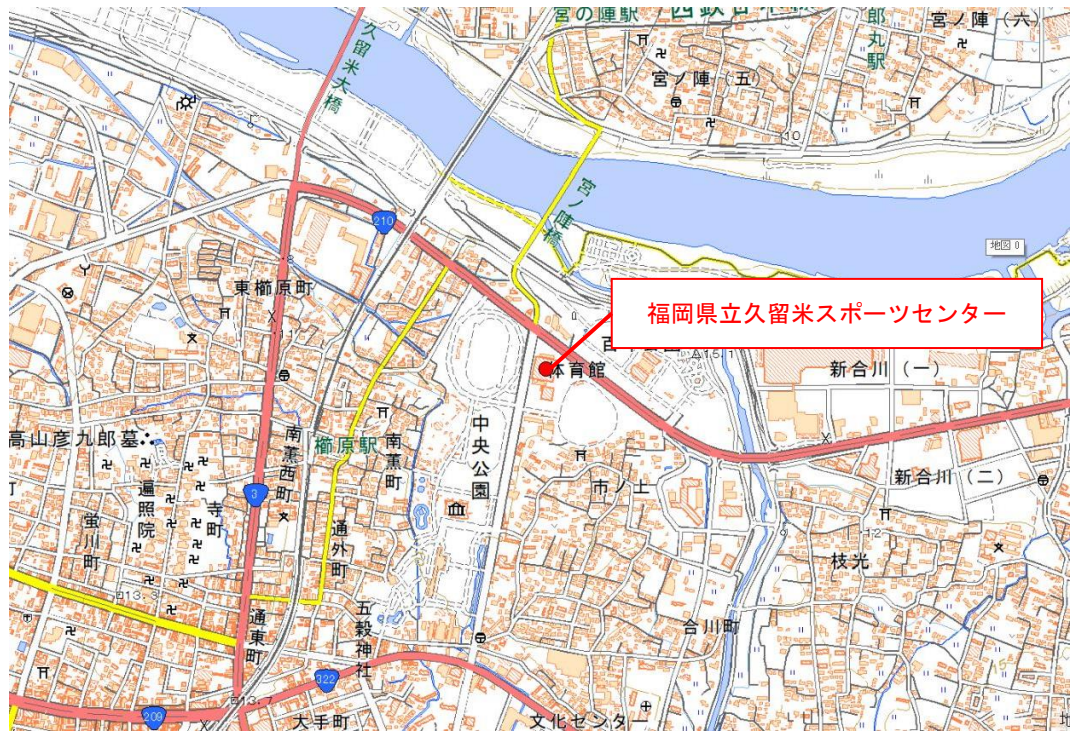
なお、野球場、久留米アリーナ内の武道場、弓道場等については久留米市が所有しています。

(3) 計画期間

計画期間は令和8年度までとします。

(4) 位置図等

①位置図



②施設写真

全景



第2章 優先順位の考え方

(1) 施設間の優先順位

当該施設は、築2年で目標使用耐用年数である65年に満たないことから、計画期間中の更新は計画していません。

(2) 施設内での優先順位

施設としては鉄筋コンクリート造りと鉄骨造りによる一般的な建物です。

(3) その他

敷地内には、久留米アリーナのほか、陸上競技場、補助競技場、テニスコート、野球場等があります。

第3章 個別施設の状態等

(1) 個別施設の状態

築2年と新しい建物であり、良好な状態です。

(2) 建物全体の現存率

建築物現存率調査票

施設名称	福岡県立久留米スポーツセンター		建物名称	久留米アリーナ				
所在地	久留米市東櫛原町170-1		棟番・枝番	1010	-	4	築年数	2年
建築年度	平成29年度	建築面積	14,798.32 m ²	現存率	100.0	想定 耐用年数	65年	
構造・階数	RC造+S造	2	延面積					12,568.91 m ²

区分	構成(P)		仕様	経過 年数	現象(K)	×100	(PK)	$\frac{\sum PK}{\sum P}$
構造	躯体	40	RC造+S造	2	1.000	100.0	4,000.0	-
	小計							4,000.0
主要部 仕上げ	屋根・防水	20	ガルバリウム鋼板	2	1.000	100.0	2,000.0	-
	外壁	20	ガルバリウム鋼板	2	1.000	100.0	2,000.0	-
	小計							4,000.0
電気設備	受変電設備	10		2	1.000	100.0	1,000.0	-
	小計							1,000.0
機械設備	給排水・衛生・給湯設備	10		2	1.000	100.0	1,000.0	-
	小計							1,000.0
合計							10,000.0	100.00

この結果、福岡県立久留米スポーツセンターの久留米アリーナの現存率は、「100.0」となります。

○建物各部位の現存率

調査部位	種類・形式等	各部位の現存率	判定項目	判定
躯体	R C + S	100.0	耐震診断による Is 値 ³	Is 値が 1.0 以上 もしくは新耐震基準
屋根	ガルバリウム鋼板	100.0	防水層からの漏水 またはその痕跡	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改築 10 年未満
			防水層の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改築 10 年未満
			経年（新設もしくは改修後）	経年 10 年未満
外壁	ガルバリウム鋼板	100.0	外壁のはく落、浮き、ひび割れ等の劣化	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改築 10 年未満
			漏水の発生・痕跡の有無	・劣化部分が少ない ・汚れがある程度 ・新築・改築 10 年未満
内壁	杉板羽目板 高圧木毛セメント版スリット貼	100.0	劣化	特に問題なし
天井	G C ボード システム天井	100.0		
床	大型積層フローリング	100.0		
建具	アルミサッシ	100.0	劣化	特に問題なし
			開閉作動・取付け状態	特に問題なし
電灯・電話設備	電灯設備 電気時計 拡声設備 避雷設備 電話設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
受変電設備	あり	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
自家発電設備	自家発電設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満

³ Is 値：構造耐震指標のことであり、この指標が大きくなると建築物の耐震性能が高くなることを意味する。

調査部位	種類・形式等	各部位の 現存率	判定項目	判定
動力設備	動力設備	100.0	経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
非常用照明・ 火災報知設備	非常用照明 火災報知設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
その他設備	インターホン TV共同受信 防犯設備等 表示設備	100.0	経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
空気調和・換 気・排煙設備	空気調和設備 換気設備 排煙設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 5 年未満
給排水・衛 生・給湯設備	給排水設備 衛生設備 給湯設備	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 25 年以上
消火設備	スプリンクラー	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年以上
エレベーター 設備	マシンルームレ ス	100.0	定期点検等の結果	特に問題なし
			経年（新設後更新後）	経年 10 年未満

(3) 目標耐用年数

建築年	経年	耐震性能		鉄筋 腐食度	平均 圧縮強度	中性化 深さ	目標 耐用年数
		耐震基準	補強後の I S 値				
2017	2	新	-	-	-	-	65年

建物に大きな問題が無いいため、福岡県立久留米スポーツセンター（久留米アリーナ）の目標耐用年数を原則どおり 65 年（残年数を 63 年）と設定します。

第4章 対策の内容等

(1) 改修・更新について

築2年で耐用年数を65年と設定しているため、残利用年数は63年となり、計画期間に施設の更新（建替え）を行う予定はありません。

計画期間内に改修費用が発生する予定はありません。

(2) 対策の平準化について

この計画期間内に改修を行う必要はありません。

(3) 対策の内容等

以上の結果、計画期間内の取組みは以下のとおりとなりますが、取組みの進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことがあります。

		(百万円)		
区分	項目	実施時期		
		令和元～2年度	令和3～5年度	令和6～8年度
主要部仕上げ	屋根・防水、内壁、天井、建具	0	0	0
電気設備	電灯・電話設備、自家発電設備、動力設備、非常用照明・火災報知設備、その他の設備	0	0	0
機械設備	給排水・給湯・ガス設備、空気調和・排煙設備、消火設備、エレベーター	0	0	0
その他	外構	0	0	0
	計	0	0	0

※上記は実際の予算や事業費等とは異なります。